



1 社会資本の概要

治水対策が必要とされていた当地区について、地域住民と河川管理者で検討した結果、堤防方式でなく、遊水区域を設け洪水を取り込む氾濫原とすることに決めました。遊水地の平常時の活用として、「昔の松浦川を取り戻したい!」という思いが強まり、アザメの瀬自然再生事業を行うこととなりました。一時的な遊水地となる氾濫原(湿地)をつ

くることでたくさんの生き物が棲む自然豊かな場所として再生され、湿地に生息する動植物を観察できる親水性の高い施設となっています。この事業は計画の段階から徹底した住民参加による計画立案・実施を行ったことで地域に愛される場所として様々な環境学習などに利活用され、維持管理されています。



アザメの瀬全体写真



現在のアザメの瀬(20年超経過)



樹木伐採による管理も実施

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

アザメの瀬では、アザメの会が中心となり、河川管理者や大学と連携して、小中学生を対象とした環境学習や伝統行事の継承などの活動を行っています。小中学生を対象とした水生生物調査や夏休み自然環境教室は、大学の人材や専門知識を活かした有意義で魅力あるものとなっています。他にも、ハス田の管理や宿泊を伴う夏休み自然環境教

室などを継続実施、最近の気候変動による水災害についても課題であると位置づけ、令和5年度より小学校4年生を対象に遊水区域でもあるアザメの瀬をフィールドに防災教育も開始、今後も流域治水の観点で地元の子供達にも水災害について自分事化となるよう目指した新たな取り組みにも挑戦しています。



環境教室の様子



九州大学の先生、学生と魚の勉強



夏休み自然環境教室

3 活動の成果や波及効果等

アザメの瀬は、多様な種が生息・生育する豊かな生態系の場としての機能を発揮しています。豊かになった生態系にふれあえる場として、環境学習等では幅広く多数の方に継続利用されています。アザメの瀬の棚田では、総合学習の一環として米づくり体験を地元相知小学生を対象に継続して実施しています。収穫した米は令和4年度から、唐津市を通じて「子供食堂」にも寄贈しています。このことで地域住民と子供達のつながりも深くなり、ふれあう環境が増えています。



収穫した米を子ども食堂に寄贈

4 前回受賞時からの活動の発展内容

河川協力団体として、樹木伐採事業を直接請け負っています。

繁茂した樹木とともに、外来種の水草対策等課題が多くあるため、会としても専門家の意見を聞くなどして活動を開始、今後本格的な取り組みも検討していきます。

自然環境学習、防災教育、食育で地元の子供達を育んでいきます。

喜びの声



受賞者
特定非営利活動法人
アザメの会
理事長
山口 芳美

コメント

地域の先輩方の思いを受け継ぎ、続けてきた活動が認められたことは、非常に嬉しく光栄に存じます。今後の活動の励みとし、地元の子供も大人になってもこの場所を大切にもらえるよう、今後もしっそうの努力を重ねていきたいと考えております。また、活動に協力いただきました各関係機関の方々本当にありがとうございました。

活動の内容

- 環境学習
- 体験学習
- 防災教育
- 食育 等

活動の経歴

- 平成14年 発足
- 平成17年 NPO法人に発展
- 平成25年 河川協力団体指定
- 平成26年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地

佐賀県唐津市相知町佐里地先

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 アザメの会
TEL:0955-62-5183

対象となる社会資本

一級河川松浦川(アザメの瀬)
※管理者:国土交通省九州地方整備局
武雄河川事務所

